

移動町長室

移動町長室は、町民皆さんから直接ご意見・ご要望をお聞きし、そこで出された貴重な声をこれからの行政に反映するため毎年実施しています。

今月号では、各地区連合町内会を単位として定期開催された、昨年の移動町長室に出された主なご意見と回答を掲載いたします。
(ご意見・要望など。は回答)

農林業・観光

北落合の農業は人参一辺倒ではなく、将来的には玉



葱やビートなどの栽培を増やしていきたい。そのためにはハウスでの育苗を考えた方がいい時代に入ってきていると思いますので、貴重なご意見として賜ります。振興作物もどんどん増えてくると今の予冷库では対応できるスペースがない。引き続き予冷库の設置を農協にも要望していきますが、町としても考えていただきたい。

作物が増えてきている中で、将来的な見通しも検討させてもらいながら、十分農協とも協議・検討していきたいが、もう少し時間がかかると思います。
第4次総合計画の中にある落合地区の「川の駅構想」とはどういった構想なのか。

落合地域を、落合の川や自然という条件を生かしてカヌー、ラフティング、釣り、犬ゾリ、カーリングといったアウトドアの体験を通じて、都市の住民と交流する地域にしていこうというところが「川の駅構想」であります。川の駅の構成員は体験サービスを提供するラフトカンパニー、アウトドア企業事業者の方や、特産品や物販サービスを行う商店の方であります。また、都市住民と交流をされる落合の住民の皆さんも構成員です。これらを側面からサポートするのが行政でありまして、「川の駅構想」というのはイコール落合地区の機能と魅力を高めて都市住民との交流人口を増やし、地域の活性化を図っていくことをめざしたものであります。

ぼつぼやロケセットも含めて、駅前をお祭り広場として開発してはどうか。
現在町と商工会で「ぼつぼや通り振興対策協議会」を立ち上げ、ハード面とソフト面の両面から検討をしています。

「金山の未来魅力を伝える会」から提出のありました活用計画は、学校施設ということで、衛生面の問題や消防法の問題で非常に大きな設備の整備をしなければ

ています。その中の全体イメージとしては、駅前をイベント広場と位置付けて、盆踊りやお祭りといった地域イベントを集約してはどうかという意見が出てるところです。今後商工会と行政だけという枠組ではなく、ぼつぼやに縁のある方や地域の方々にも協議会への参画をお願いしたいと考えています。町の財政が非常に厳しい状況にありますが、本件につきましては時間がかかってもなんとか実現性を少しでも高めていきたいと考えています。

金山中学校跡地については、いろいろと検討を重ねながら金山でも若い人達がグループを作って取り進めているところですが、なかなか進んでいかない状況にあります。それらも含めて今後のあり方について伺いたい。

「金山の未来魅力を伝える会」から提出のありました活用計画は、学校施設ということで、衛生面の問題や消防法の問題で非常に大きな設備の整備をしなければ



ばならないことがはっきりしてきました。それらを計算すると3千万円近くのお金が必要になるということで、それだけの費用をどのように捻出するのかという問題があります。仮に、大きなお金をかけて整備したとして、会の皆さんが長くその事業をやっていただけなのか。町も3千万円のお金をすぐに用意できる状況ではありませんので、非常に難しい問題の中で、簡単に結論は出せないというお話をさせていただいております。会では今年、ふれあい公園の駐車場で農産物の販売を試みてくれました。固定の利用客もずいぶん増

えたということをお聞きしました。この中学校の施設利用でなかなか結論が出せない状況ではありますが、会の活動としてはこのような形で今後も進めていただければというのが、町側の願いであります。

保健・福祉・保育

独居老人や傷病者の家に非常用ボタンを設置してほしい。

緊急通報システムが想定されると思います。町では現在地域福祉計画を策定中で、その計画の理念の中に「安心して住みつづけることができる町づくり」とい



うものを掲げた考えがあります。計画の策定委員の方からも、この緊急通報システム設置の必要性について指摘がありますので、どのような形で設置し、どう運用すべきなのかを今後検討協議していくことになると思います。

夏は子どもを連れて物産センター裏の公園で遊んでいます。しかし冬場は子どもが小さく外ではあまり遊べません。総合福祉センター大ホールの使用予定が入っていない時には窓口で氏名を書いて遊ばせてほしい。

冬場は公園の遊具も使用できないということ、安全に子どもたちの体力の向上や、健康の育成を図る施設の開放が必要であると考えております。大ホールにつきましては、使用していない時間帯に保護者または使用責任者が同伴していただける方については、その責任のもとに使用していただきたいと思っております。なお、大ホールはスポーツ施設ではないので、



道具を用いての使用を規制させていただきます。

特別養護老人ホームの建設費は約9億円ということですが、従来説明されてきた平成32年までの財政シミュレーションは、根本から見直していかなければならないと思います。財政のことをきちんと説明をしていかないと、100%住民の理解が得られないのではないかと。

今の財政シミュレーションにつきましては、特別養護老人ホームを造る部分の見直しをきちんとかけて、議会の所管委員会にもお話をさせてもらっています。確かに当初のシミュレー

ションでいけば、公共事業が7億というラインで考えていたのですが、この施設を造ることによって、2・3年は多少でこぼこになりまして、財源の過疎債については、70%の交付税のはね返りがありますので、約6千万円ぐらいのお金が毎年入ってくるようになりますし、人口が約80人増えますと、交付税で年間2千百万円程度のお金が入ってきます。そういうことになりまして、毎年約8千万円の償還となつてきます。特養の部分ではほとんど返していけると見込んでいます。平成33年には償還が終わります。財政シミュレーションは、平成32年まで組まれていますので、その部分でいけばその中ですべてが終了し、そして平成32年以降は逆に積立ができていく仕組みになる形でシミュレーションしています。

学校教育

落合小学校の水洗トイレ設置は平成18年度の予算に

組み込まれたのか。
各学校のトイレの水洗化については、年次的に行ってきたところでありまして、落合小学校につきましては平成18年度において水洗化のための財源を確保していく考えであります。
スクールバスの運転手がタバコを吸っている。子どもが乗っていない時に吸っているようなので、バスの中にタバコの臭いが染み付いている。中にはその臭いに酔ってしまう子どももいます。また、停留所の発車時間ですけれど、運転手によつてはまちまちで、時間がきちんとしてない。よく実態を調べて対応します。

町では、町民5人以上のグループを単位とする随時開催の移動町長室も開催しています。ご希望の方は企画商工課広報広聴係 ☎52 2115 までお問い合わせください。